

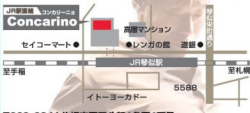


札幌

2024年

11月17日(日) 14:00開演

会場：生活支援型文化施設コンカリーニョ



T063-0841 札幌市西区八軒1条西1丁目
ザ・タワープレイス1F (JR等駅直結)
アクセス：JR「等駅」直結徒歩3分 /
地下鉄東西線「等駅」徒歩12分
※専用駐車場はございません。
近隣の駐車場をご利用ください。

[プログラム・振付家・上演作品]

1部：「サッポロコレオ 2024」
作品上演 (14:00~)

小林萌「ens」(東京)
タイラハルカ「新作」(札幌)
山崎彩美
「PlayHouse」(札幌)

支えらることで
支えられる
そんな
心地よいダンスの中に
自分の欲が
ころがっている
● 山崎彩美・演出家



2部：「Choreographers 2024」作品上演 (15:00~)

岡田玲奈、黒田勇 / Null (東京)

「Own Own」*KCA2022 奨励賞

熊谷拓明 (東京)「todo〇〇〇」

*北海道にて出演者を公募し、新作を上演

きたまり「サカリバ」(札幌・京都) *リバイバルver.

3部：アフタートーク

ゲスト：田仲ハル (舞踏家/グラフィックデザイナー) + 櫻井幸絵 (演出家)

※3部は入退場自由

新潟

[新潟]

2025年

2月7日(金) 19:00開演

2月8日(土) 15:00開演

プレトーク：
7日18:00~18:45 (17:45開場)
8日14:00~14:45 (13:45開場)

会場：りゅーとびあ

新潟市民芸術文化会館(スタジオB)

T951-8132 新潟県新潟市中央区一番堀通町3-2

アクセス：JR「新潟駅」から
高代横ライン青山方面バス「市役所前」下車徒歩5分。
※専用駐車場はございません。

白山公園駐車場(有料)をご利用いただけますが、
混雑する場合がありますので予めご了承下さい。



[振付家・上演作品]

池ヶ谷奏 (新潟)「湊に眠る者たち」

*新潟のダンサーとともに新作を上演 *KCA2022 京都賞・ベストダンサー賞

大森瑠子 (東京)「Tuonelan」

*KCA2022 京都賞・オーディエンス賞

砂連尾理十寺田みさこ (東京・京都)「男時女時」*リバイバルver.

[プレトーク]

「メディアとしてみる、コンテンポラリーダンス!」

ゲスト：吉田純子 (朝日新聞社 編集委員) × 呉宮百合香 (アートコーディネーター・舞踊評論)

女である、
身体で表現する、
ダンスと行為の狭間、
生の感覚の中で、
生々間や喜怒哀楽と共に、
織り交ぜた作品が、
ここへ現れに。
● きたまり

次代の振付家によるダンス作品上演&トーク

コンテンポラリーダンス新進振付家育成事業 2024

Choreographers 2024

札幌・新潟公演!



[チケット取扱]

●Peatix (電子チケット) : <https://peatix.com/user/4361821/>

※JCDN会員割引は上記のみ取扱。

[札幌のみ]

●ローソンチケット : [https://l-tike.com/\(Lコード116114\)](https://l-tike.com/(Lコード116114))

[新潟のみ]

発売日：りゅーとびあ会員 11月7日(木)・一般 11月9日(土)

●りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 (オンライン・電話・窓口)

◆りゅーとびあオンライン・チケット：
<https://piagetii.s2.e-get.jp/ryutopia/p/>

◆りゅーとびあ チケット専用ダイヤル・窓口：
TEL: 025-224-5521 (11:00~19:00 / 休館日除く)

※オンライン・電話は発売初日11:00より開始。
窓口は、発売初日取扱いなし。

[料金] (全席自由)

一般 3,000円

U25・障がい者 2,000円

高校生以下 1,000円

※当日500円増 ※障がい者は介助者1名も同料金

※JCDN会員割引有 ※未就学児入場不可

※トークは、要公演チケット提示

※「U25・障がい者」「高校生以下」チケットは、
入場時に証明書をご提示ください。

[お問い合わせ]

●札幌公演制作：CONTE Dance Production

TEL: 080-5591-0098 (森崎) MAIL: dance@conte-sapporo.com

●新潟公演制作：アーツカウンシル新潟

TEL: 025-378-4690 MAIL: artscouncil@niigata.email.ne.jp

●総合企画：NPO法人 JCDN

TEL: 075-361-4685 MAIL: info@jcdn.org

[助成] 文化庁文化芸術振興費補助金 舞台芸術等総合支援事業 (芸術家等人材育成)

独立行政法人日本芸術文化振興会

[主催] NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク (JCDN)

[共催] NPO法人コンカリーニョ (札幌公演)、
公益財団法人新潟市民芸術文化振興財団 (新潟公演)



コンテンポラリーダンスの
振付家
に光をあてる、
新シリーズ第八・九弾。
※特設サイトにて
振付家プロフィールなど最新情報を
ご覧いただけます。
<https://choreographers-jcdn.org>

岡田玲奈、黒田勇 大森瑠子

Null (東京)

(東京)

「Own Own」

上演会場: 札幌

構成・演出・振付: 岡田玲奈、黒田勇

出演: 岡田玲奈、宮部介

支えることで支えられる
そんな
心地よいバランスの中に
自分の欲がころがっている

「Tuonelan」

上演会場: 新潟

振付・構成・演出: 音楽(一部): 大森瑠子

出演: 大内達歌、大森瑠子、尾上実梨、
水谷マヤ、八木橋華月
レジデンス創作: 穂の国とよはし芸術劇場プラット

死の国 Tuonelanと
現世との境を流れる黒い川。
悲哀に満ちたその場所で
踊り続ける者たちがいた。

熊谷拓明

(東京)

「todo〇…」

上演会場: 札幌

構成・演出・振付: 熊谷拓明

出演: 石井辰哉、杉村美穂菜、
矢藤智子、米坂あやな

留まる事、動かない事、
ダンスを起さず自分でいる事。
私はそれがとても
豊かな行為に思えるのです。

池ヶ谷奏

(新潟)

「湊に眠る者たち」

上演会場: 新潟

構成・演出・振付: 池ヶ谷奏

出演: 堀川美穂、横山ひかり、池ヶ谷奏、他

歴史ある場所
ここ しもまち
かわるもの かわらないもの
そして



岡田玲奈、黒田勇
Reina Okada, Yu Kuroda / Null

強靱なフィジカルとテクニックを持つ岡田と黒田、二人はそれぞれ日本を代表するコンテンポラリーダンスのカンパニー(BATIK) (Co.山田うん)のダンサーとしても活動する。2019年、大学卒業を機にダンスグループ(Null)を結成。本作「Own Own」は北陸や関東のダンスフェスティバルにて上演を重ね「KCA 2022」で奨励賞を受賞した。あらゆる概念を跳い、それらをゼロからの視点で捉える事で新しい可能性を導き出すこだわりの振付に注目。



大森瑠子
Yoko Omori

日本女子体育大学在学中から創作を始める。クラシックバレエやコンテンポラリー、ストリートなどの様々なダンス経験を活かした独自性の高い振付が特徴。KCA2022で京都賞・オーディエンス賞をW受賞した作品「Help」は、2021年に横浜で初演後、フランス、京都での上演を経て「Choreographers 2023」で2地域をツアーし、世代を超え国境を越えて多くの共感を呼んだ。今回は新たな挑戦をすべく、豊橋でのレジデンス創作を経て新作を発表する。



熊谷拓明
Hiroaki Kumagai

北海道生まれ。ダンススタジオマインドにて宏瀬賢二に師事。2008-2011年シルクドゥソレイユ「Believe」に出演。帰国後に自身の創作活動を開始。身体がどう存在し、変化、消えていくのか。身体が奏でる全ての景色を創にみだてる「ダンス劇」を多数発表。近年は演劇作品の振付やアートフェスの演出にも「ダンス劇」をひろげている。

*放浪であり青春を過ごした北海道にて、道内在住の若手ダンサーをオーディションで選出し、choreographers 2024に向けてクリエイション。



池ヶ谷奏
Kana Ikegaya

3歳よりクラシックバレエを、11歳よりコンテンポラリーダンスを始める。お茶の水女子大学舞踊教育学コース卒業。10年間<Noism>に所属し、国内外の公演に出演する他、カンパニークラスやマースクールの講師を務める。現在フリーランスの舞踊家として様々な振付家の作品に出演。KCA2022 京都賞・ベストダンサー賞。

*新潟で活動するダンサー。ダンスを志す若者たちと共に新作を創作。

「コンテンポラリーダンス新進振付家育成事業 2024」

Choreographers 2024

コンテンポラリーダンスの振付家の役割って案外知られていない。「振りをつける」ことに留まらず、作家であり、演出家であり、思想家であり、冒険家であり……。

ダンスは、時には社会を察知し、真実を探るメディアでもあるのだ！

「Choreographers」は、そんな振付家にまつわるあれこれを、上演&トークを通して掘り下げるシリーズです。2024年は、「KYOTO CHOREOGRAPHY AWARD (KCA) 2022」の受賞振付家による作品、上演地域に縁のある振付家とその地域の若手ダンサーと作る新作、そして2000年代のコンテンポラリーダンスの名作を現代の若手に振付するリバイバル作品、計6作品を地域ごとに3作品ずつ紹介します。

また、札幌公演は、ダンス作品を作り始めた若手から中堅までをサポートする「ダンスでいこう!!」札幌プログラム『サッポロレオ2024』と同時開催。

気鋭の振付家による、全く世界観の異なる作品を劇場で楽しむ絶好の機会です。コンテンポラリーダンスに関心がある方はもちろん、初めて触れる方も、ぜひトークとあわせてご覧ください。

2000年代のコンテンポラリーダンスの名作をリバイバル

きたまり (札幌・京都)

「サカリバ」

上演会場: 札幌

振付・演出: きたまり 出演: さとうまゆ、福島頌子、藤岡美沙、山口なぎさ

振付・演出アシスタント: 王丸陽可、前川友萌香

音楽: G 初演: 2004年

協力: さっぽろ天神山アートスタジオ

女である、身体で表現する、
ダンスと行為の狭間、生の感覚の中で
絶え間ない悲喜交々と共に
生まれた作品が「いま」ここで新たに。

振付家: きたまりが21歳の時に創作し、
26歳まで自身のカンパニーKIKIKI-KIKIKIで踊った「サカリバ」。「踊りに行け!!」などで日本全国・アジアの国々を巡回上演し強烈な印象を残した。踊り手一人一人の個性が際立ち、賑々しく、きらびやかで、たましい世界を描き出す、見どころ満載の作品。



砂連尾理十寺田みさこ (東京・京都)

「男時女時」

上演会場: 新潟

振付・演出: 砂連尾理、寺田みさこ

出演: 長野野音、関口晴、カナール ミラン 波志海※上演回によって出演者が異なります。

初演: 2003年

オドキメドキ 良い時 悪い時
欲しいものが何なのか、口の前に手を運ぶ
おどきめとき 良い時、悪い時
彷徨うワシの一体感、引き寄せては味わう



第1回トヨタコレオグラフィーアワードを初めてとする様々なダンス賞を受賞し、2000年代日本のダンスシーンを牽引したデュオ、砂連尾理十寺田みさこ(じゃれみさ)。独特の世界観と緻密な構成・振付された作品群は、多くの観客を圧倒した。色あせることのない二人の代表作を、オーディションで選出したダンサーの身体に振付しリバイバル。見逃せない2日間!!

「サッポロレオ2024」作品

小林萌 (東京)

「ens」

振付・演出: 出演: 小林萌

5歳から始めた空手で黒帯をもち13歳から踊り始め武道と舞踊をルーツに。2021YDC II アーキタンツ・アーティストサポート賞受賞。2022年Duo Dance Festival. 2023年Buddhism dance festival (韓国)に招聘・最優秀賞受賞。

タイラハルカ (札幌)

「新作」

振付・演出: タイラハルカ

札幌出身。4歳からバレエを学び、2009年より札幌玲子に創作舞踊を師事。札幌国際情報高校卒業後、アメリカに留学。22-23年にイギリス留学中、Creative Dance Spaceを主宰し、初の群舞作品を創作・公演。24年1月に帰国。同年6月ソロ作品「穴」公演。8月脇巻芸術祭2024に出演。

山崎彩美 (札幌)

「PlayHouse」

振付・山崎彩美 出演: 織田慧奈、岸本芽子、山崎彩美

札幌出身。北海道大学理学部卒。4歳からバレエとチアダンスを始める。学生時代はプロスポーツ専属チアダンスチームに所属。9年間芝生の上でパフォーマンスをする。21歳でNYへ短期留学し、コンテンポラリーダンスに出会う。帰国後、札幌を中心に全国各地を巡って踊りを学びつつ、ダンサー・講師・振付家として活動



Choreographers 2024
プログラムWEB
https://choreographers.jp/
or/program/choreo24